

授業改善研修会 生活科

教師が「～させる」授業から、児童生徒が「～する」授業へ

群馬県教育委員会事務局
義務教育課 教科指導係

本日の内容

- 1 群馬県教育ビジョンと令和7年度学校教育の指針
～「特に現れてほしい子供の姿と授業づくりのポイント」～
- 2 「特に現れてほしい子供の姿と授業づくりのポイント」設定
の背景
- 3 「特に現れてほしい子供の姿と授業づくりのポイント」を
具現化するために～本日の授業を基に～

昨年度の取組（渋川市立長尾小学校）

○友達と話し合ったり試したりしながら、秋のおもちゃやルールを工夫する姿が見られたか。



- 家族に喜んでもらうため、もっと楽しめる遊びにするために、友達と試行錯誤しながら工夫した。
- 振り返りで次時の見通しをもつことができた。更に、教師の関わりから児童の気づきの高まりが表現できるとよい。

I.群馬県教育ビジョン

エージェンシーを発揮する

「自律した学習者」へ

～「群馬県教育ビジョン(第4期群馬県教育振興基本計画)」の実現に向けて～

幼稚園・小学校から高等学校まで、全ての学校園で取り組みます

自分ですべてを
つくること
が楽しい

失敗してもいい
自分のペースで
進めよう

社会をつくるのも
進んでいるのも
自分たちで
決めていこう

学校生活の中で、言葉のような文字記号の力が求められることが多いです。そのためには、子供たち一人一人がエージェンシーを発揮する「自律した学習者」になっていくことが大切です。

でも、児童は、こんな苦しいのが多い～

間違えてもかまわないから進めよう。

エージェンシーとは、「自らも生み出している自分と社会より良くしようとする意欲・原動力」です。学校内では、幼稚園教育要綱や学習指導要綱に示されている内容であり、これと変わらなません。今、私たち教師に必要なのは、子供たち自身の力を信じ、学びの転機を掴むことです。

一斉型の授業を受けるだけの
受動的な学び

主体的で探究的な学び
(主体的・対話的で深い学び)

(取り入れたい場面)

自己決定
対話・交流
試行錯誤

子供たちの力を信じるということは、学習の進め方や方法を全て任せて、教師は放任するという態度ではありません。問題を解決していく学びの中で、右に示した場面を意図的に取り入れていくことが大切です。詳しくは「探究的な学び」をご覧ください。私たち教師もエージェンシーを発揮し、新しい授業に前向きに取り組み、チャレンジする姿勢や、変わりゆく状況に柔軟に対応できる資質・能力を身に付けていきたいと思います。

自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す！

●群馬県教育委員会 平田郁美教育長からのメッセージ●

子供たちは、生まれながらにして自分と社会より良くしようとする意欲・原動力に、精神的に成長しようとする力を持っています。この力を生かした教育の実現に向けて、失敗を恐れず、試行錯誤しながら取り組んでいきたいと思います。

令和6年3月 群馬県教育委員会
(エージェンシーを発揮するための学びを推進するリーフレット)

メッセージ
動画はこちら

共通認識したいこと

自分事化 自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す！

幼稚園教育要綱や学習指導要綱の資質・能力の三つの柱(「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」)の育成を目指して、具体的な取組の例を示します。

●〈取り入れたい場面〉を意識した問題解決的な学びを行いましょう。
●教師は見守りつつ、適切な支援(意欲や目的意識を高める問いかけ、比較・分類・関連等を意識した発問等)を行いましょう。
※子供たちが好きなことを自由にしてよいということではなく、課題の解決に向け、友達と協働しながら自分たちの力でより良い方法を考えることができるようにすることが大切です。

「取り入れたい場面」

自己決定 当事者意識を持ち、主体的に学習に取り組む
対話・交流 自分の考えを述べ、他者との共感や理解を深める
試行錯誤 失敗や誤りから学び、より効果的な解決策を導く

エージェンシーを発揮(自律した学習者)

高等学校

変化の激しい社会を
自分の力で
歩いていける人

自らの生き方や社会の課題の解決に向けた探究的な学習となるように、単元・題材をデザインしましょう。

●英語コミュニケーション！ 課題について考察する場面

私たちの身近な地域の課題ってどんなことがあるかな？

誰かが住みやすい町にするには、どうしたらいいかな？

Your Project

To work on social issues around you and to give a presentation in English

私たちの町は緑化が進んでいるよね。

Solutions
To widen the road
To pave gravel roads
(CHANGING THE FUTURE)
To make a slope

実社会における課題を自分事化し、分析・考察した上で、具体的な提案・解決策を英語でプレゼンテーションする単元をデザインします。

地域や社会を調べる活動を通して課題の提言をする場面。

中学校

自分で決定し、他者と交流しながら、友達と試行錯誤する場面を増やしていきたいと思います。

●1年理科「光の性質」の全身が映る鏡の大きさを考える場面

自分は実際に実験をして確かめたけれど、友達のように道に学んだ作図を渡っても手書きが合っているといえそうだな。

様々な方と交流することにも前向きな姿勢をもちました。

総合的な学習(探究)の時間は、実社会や実生活の課題を解決する実践の場であり、そこでの振り返りが各教科等の学びに深まりと広がりを生み出すことになります。

小学校

「課題を自ら見だし、考える」場面を増やし、自分で学びをつくる楽しさを実感できるようにしましょう。

●1年算数「ながさくらべ」の比較の仕方について考える場面

友達の花と長さ比べたいな。でも数が同じと土が切れちゃう...

リボンを使えば比べられそう。鉛筆も半分でも比べられるかも...

子供たち同士で試行錯誤しながら、長さの比較を考える場面。

生活科

「幼児期の終わりにまで読んでほしい姿」を意図的に置いて、環境の構成をしましょう。

●水遊びの場面(水遊びおもちゃ)

昨日、先生がくじらから水を出していたな。

どうしようにすればいいのかな？

水が高いところから低いところに落ちる仕組みを利用した「くじらのおもちゃ」を用意して、見守ります。

子供たちが何度も試しながら、あきらめずに自分たちで、「くじらのおもちゃ」から発見を見つけた。

教科学習の基となる遊びが自然に行われる。

行事等

新生活の思いを自由に表現する作品展

自治体の団体に基づく手作りの行事

生徒主体で授業を振り返る生徒会活動

自分で事業計画を立てて決める園遊会

新しい地域づくりを目指す花鑑賞ボランティア

ポイント

活動自体が目的ではなく、自分たちが行事を作り上げていく意義を実感し、より良い社会を実現するために何ができるかという視点を持って生活できるように支援しましょう。

上記の場面はあくまでも一例です。総合的な学習(探究)の時間と行事等は、どの校種にも置き換えて考えることができます。

Ⅰ.令和7年度学校教育の指針

～各教科等で身に付けたい資質・能力の育成～

教師が「～させる」授業から、児童生徒が「～する」授業へ

生活科で特に現れてほしい子供の姿

なりたい自分を目指して、学習対象に関わり続けている

授業づくりのポイント

- ・ 児童の思いや願いに寄り添い、支え、見守り、小さな成長を認める姿勢を大切にする。
- ・ 振り返りの際に、単元の課題の課題解決状況と次に取り組みたいことを視点として示す。

なりたい自分を目指している子どもたちの学びを支えるために、環境の構成（人・物・こと）を工夫していますか。



I. 本日の授業では・・・

○みんなが一緒に楽しめる「オータムフェスティバル」に向けて、秋の自然を生かしたり、遊びを試したりしながら、友達と協力して遊びに使うものを作っていた。

自己
決定

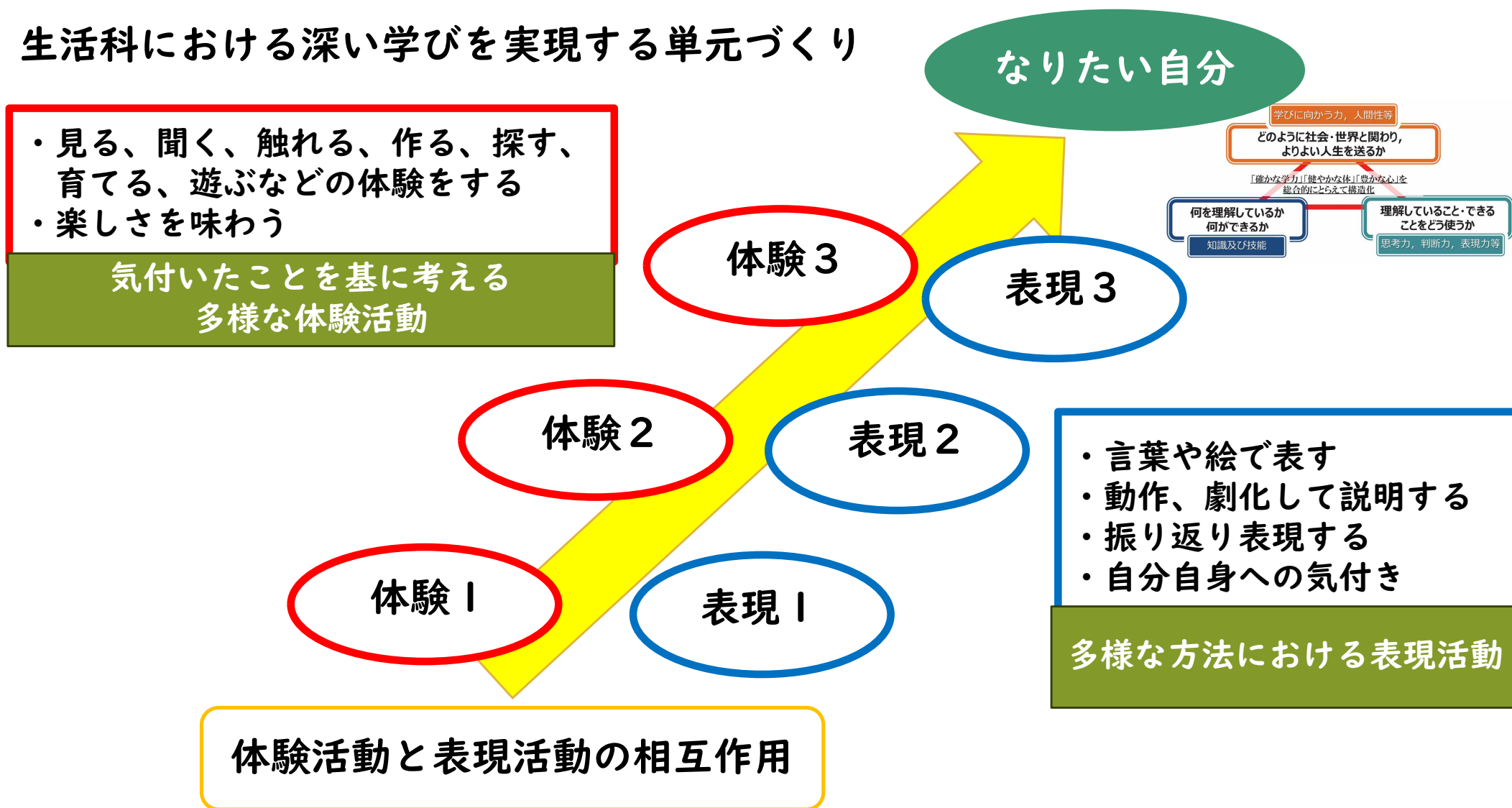


試行
錯誤

対話
交流

2. 「特に現れてほしい子供の姿と授業づくりのポイント」設定の背景

生活科における深い学びを実現する単元づくり



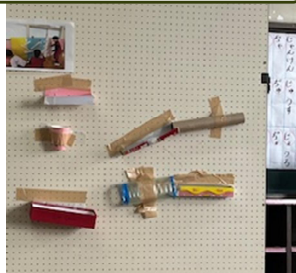
2. 「特に現れてほしい子供の姿と授業づくりのポイント」設定の背景

生活科における深い学びを実現する単元づくり

(気付いたことを基に考える多様な体験活動)



(教師が作成)



事前に児童の活動を予想し
環境の構成をする

体験 1

表現 1

体験 2

表現 2

体験 3

表現 3

なりたい自分

学びに向かう力、人間性等

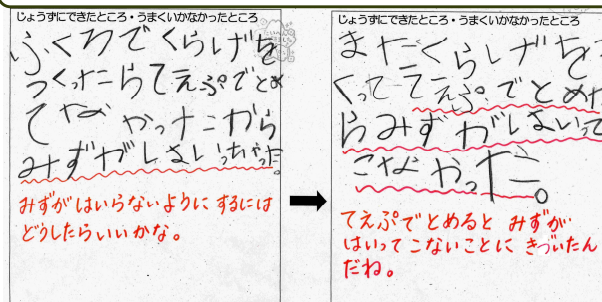
どのように社会・世界と関わり、
よりよい人生を送るか

「確かな学力」「健やかな体」「豊かな心」を
総合的にとらえて構造化

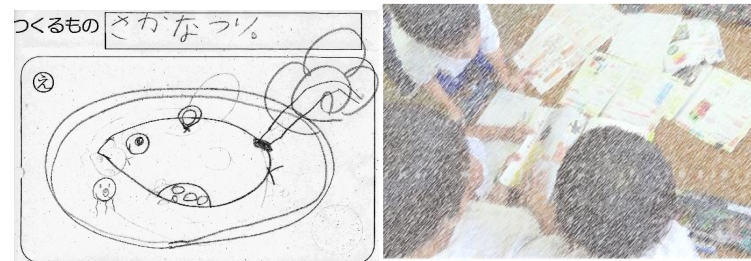
何を理解しているか
何ができるか
知識及び技能

理解していること・できる
ことをどう使うか
思考力、判断力、表現力等

児童の気づきを高める振り返りカード



児童の遊びに使うもののイメージ図



体験活動と表現活動の相互作用

3.特に現れてほしい姿と授業づくりのポイントを具現化するために

小学校 1 年

1 学期

児童は生活科が大好きだけど、自分たちの学んだことを表現できているかな

入学してから、朝学校に行くのが気が進まないっていう子供もいるなあ・・・



こども園で
どんなことをしていたのかな？

○令和4年度小学校学習指導要領実施状況調査の結果から

幼稚園や保育所等と連携しながらスタートカリキュラムの作成を行うことは、前回調査の類似質問の結果と比べて改善傾向がみられるが、他の質問と比較して肯定的な回答は61.6%と低い傾向にある。

子供たちはいつも生活科は楽しそうだけれど、授業が活動だけになっている気がする

3.特に現れてほしい姿と授業づくりのポイントを具現化するために

1 学期

こども園に行き、幼児期の経験を知るとともに、環境の構成を学ぶ（7月）



幼小連携・接続



こども園の「夏まつり」は先生が用意してくれた、と一年生の児童は言う。
一年生の児童たちは、自分たちで考えたおまつりを創ってみんなで楽しみたいと思っている。
そんな子供の気持ちに寄り添いたい。

3.特に現れてほしい姿と授業づくりのポイントを具現化するために

一人一人の思いや願いの実現や、次にやりたいことを表現する



環境の構成の工夫

身体を通して直接働きかける体験

教師の関わり

振り返り

好奇心をもって

見守る・待つ

無自覚な気づきを
自覚するための問い返し

試行錯誤しながら

児童と共に
楽しむ

思いや願いの実現を
自分なりにみんなに伝える

友達と一緒に

ポイント

無自覚だった気づきが自覚されたり、一人一人に生まれた個別の気づきが関連付けられたりすることで、対象のみならず自分自身についての気づきが生まれる

【明和東小学校】 本日の授業では・・・

明和東小学校

サマーフェスティバル(7月)



材料をたくさん用いて、自由に魚をつくった。

環境の構成の工夫

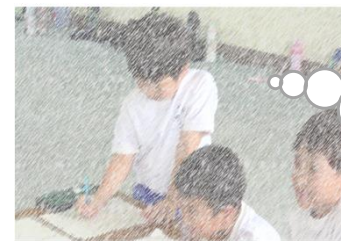


材料を限定

自分で選べる

材料を限定し、一人一人に応じた環境の構成にする。

言葉・絵・動作で表現



イメージを描いてみようかな・・・



的入れを工夫したよ。どんぐりが一番入りやすいよ！

本時の活動(学び)の表現の仕方は児童一人一人によって、違ってよい

本日のまとめ

- 児童の思いや願いに寄り添い環境の構成を工夫しましょう。
- 言葉・絵・動作で表す表現活動をすることで、児童の気付きの質を高めましょう。